

<3Q>

No.	講義名	氏名	教員コメント
1	北海道誌	塙崎 大輔	概ね満足という結果を得られたが、回答数が少ないため、引き続き改善を進めていく。
2	外国の歴史	横田 肇	昨年はこの科目を担当して全体的に一番評価が低かったのに対し、改善を意識した結果、今回は大分評価が上がったと思う。理解度と興味の教学が上がったところがよかったです。ただ、大人気の授業であるので人によって物足りなさがあるのは致しかがない。話しが不明瞭、パワポの字が小さい、等、さらには改善に努めたい。
3	社会学（S・D・A）	松下 守邦	本科目「社会学」は、教職課程（中学校・高校公民）の必修科目であり、あわせてデザイン学科・建築学科・社会福祉学科の学生を対象とした選択科目として統合されています。社会福祉学科1年生必修科目「社会学と社会システム」がソーシャルワークのための社会学的思考や概念を理解するための導入的な枠組であるのに対して、本科目「社会学」では、社会学の基礎理論と領域社会学の基本的理論に重点を置いて授業を行いました。授業後に実施するしているFormでの回答結果をふまえ、翌週授業では、みなさんの理解度を確認しながら要点を復習する、授業設計改善に努めてまいります。
4	社会学（M）	山本 一彦	全般的な授業展開については概ね良好な結果が得られたと言える。授業内容を「理解できなかった」という受講者も無く、科目の趣旨を身につけてくれたものと受け止めている。ただ、「板書表記」に関し、文字の小ささから見にくいくとの指摘があった。今後の課題としたい。
5	データサイエンス基礎	薦田 勇智	アンケートの回答ありがとうございました。ノート提出に関する苦情が来っていましたが、提出そのものに関しては何も間違ったことはしていませんので、一切聞き入れるつもりはありません。むしろ、勉強することが大学生の仕事の一つですで、文句を言う前に勉強してください。ただ、量に関しては修正の余地があると考えています。来年度以降の参考にさせていただきます。より皆さんがデータサイエンスについて理解が深まるよう努力してまいります。
6	ソーシャルワーカーの基礎と専門職（専門）	上原 正希	全体的には良い評価だったのではないかと思います。人数が多い科目なのでカンニングらしき学生を出さないことをしたいと思います。また試験前の全体まとめや試験対策は継続して行いたいと思います。アンケート、コメントの記載いただきありがとうございます。
7	社会保障 I	上原 正希	試験対策や授業のまとめなどは継続して実施したいと思います。章の終わりに確認問題やまとめプリントなどを配布したいと思います。
8	心理学と心理的支援	吉澤 英里	まずはアンケート回答に感謝します。また、授業期間中は円滑な授業運営にご協力をいただき、感謝します。一部、適切ではないとの意見があつた項目については、全般的に見直して改善をします。
9	権利擁護を支える法制度	神内 秀之介	双方向性の講義が難しい中で、フォームによる質問や感想を積極的に発信してくれる学生がいたことに感謝しています。
10	保健医療と福祉	宮崎 剛司	これまでのアンケート結果を踏まえて学習環境（質問のしやすさ、受動的学習の改善など）を強化したところ、概ね肯定的なご意見をいただけたと受け止めています。今後は、配布物の工夫や時間管理の改善にも引き続き取り組み、より満足度の高い講義を目指してまいります。
11	美術学概論 I	竹内 美帆	パワーポイントやレジュメ等の資料をTeamsで共有したことについて、わかりやすい、復習がしやすい等の好意的な意見があり、今後も続けて行きたいと思います。また、グループディスカッションのやり方や、回数などについては、大人数授業の中でどのように実施するかについて検討し、より分かりやすく興味の持てる授業にしていきたいと思います。
12	美術学概論 II	寺崎 弘道	美の所在を探求し、自らの言葉で考察内容を表現することが履修目標の一つ。そのため多角的な内容で1日2講義、2テーマ2課題を前提に学習内容を編成しているが、一定量の事後学習をするなど負担は大きく、全体の時間配分や教科選定にはまだ改訂の余地がある。単に知識や結論を得ようとする受動的な学習態度の変容につなげるために、閲覧履歴の確認できるCampus-Xsを活用して注意喚起を適切に行うとともに、テスト機能を利用した習熟度の確認試験、アンケート機能を利用した事後報告書の提出など今年度からの新たな取り組みを改善し、効率的で効果的な考察力の伸長を目指す。
13	経営理論	信濃 吉彦	概ね好評価で安堵しております。全般的に学習量が少ないと感じております。そのため本講座では学習エビデンスとしてノート提出を義務付けております。今後は家庭学習していただきたい内容に沿って改善していくつもりでおります。
14	現代の精神保健の課題と支援 II	近藤 菊弥	みなさんの基礎学力の高さを感じ、初回の授業で講義を聞く形式にするか、グループワークでパワーポイントを作成し発表形式にするか選んでいただき、後者の方法で授業をさせていただきました。現場で仕事をしている経験から、基本的なパソコン操作やオープンドイアログのような精神疾患をもった対象者との含めた対話の技術、専門職として学生などの発表の技術を養うという目的で事前に皆さんに同感を得て授業を行なっております。実際に取り組む姿と、パワポの出来栄えに、みなさんの可能性を感じました。また、ほとんどの方が発表を聞き、重要な部分の私の追加の説明を書き込んだり、マーキングしたりと試験勉強にも真剣に取り組んでいただき、持ち込み不可の試験でも関らず、平均点数が外れ値を除き45/50と高得点で、成績をつけることができました。毎回、各グループの進捗状況を確認させていただき、「丈夫？」と声をかけやすいようにしていただいたにも関わらず伝わらなかったことを少し残念に思います。また、グループワークで重要な事項を網羅しているか、どのような追加説明が必要か、過去6年分の国家試験やテキスト、現場で使われる知識や、実習で必要な知識等から、時間をかけて私も学習し、授業を進めていることをご理解いただければと思います。みなさんの頑張りは素敵でした。
15	精神障害リハビリーション論	近藤 菊弥	プリントになり、授業で話している部分もモモをし流石3年生だと思います。これからは実習がありますが、頑張ってください。
16	社会福祉施設の人事・労務・財務管理とリスクマネジメント	上原 正希	学校に講師を招くのではなく、今回は施設に訪問する形式をとりました。普段なかなか聞くことができない財務の話などを聞けたのは良かったことが理解できました。あとは質問ができるように促したいと思います。
17	発達心理学 II	鷲名 美穂	保育園児との交流やドキュメンタリー映画の視聴等、シラバスの予定と異なる部分ができていたかと思います。相手先の予定の調整もあり、予定通りにはならない部分があります。この辺り、今後の課題としたいと思います。
18	肢体不自由教育 I	千葉 聰美	肢体不自由教育の基礎として知っておいてほしいと考え、指導した内容をおおむね理解させることができた。1の最大の特徴は、車椅子操作、嘔下の体験、形態食の調理と試食、動作法の体験等、実技を入れていることである。実技の時間を確保するため、シラバスの順序を入れ替え、余裕を持たせた。こうした授業内容のため昨年より教室変更をしていただいたおかげで、スムーズに実施できた。
19	視覚障害教育総論	木村 浩紀	医学的に難しい内容もましたが、理屈理解ができたようであつたです。教育だけでなく、疑似体験を通して、視覚障害者の日常的な様子も感じてもらえたらしいです。我々の何倍も努力して取り組んでいる姿を参考に、教員等を目指してほしいと思います。
20	保育内容総論	佐藤 康慶	貴重なご意見ありがとうございました。アンケートの結果をもとに今後の講義の参考にさせていただきます。
21	知的障害教育 I	藤根 収	受講者のみなさんから比較的高い評価をいただきました。今後とも学生に分かりやすい、主体的に取り組める授業づくりを基本に進めてまいりたいと考えております。
22	民法	青山 浩之	民法は第3クォーター月曜日4講目と木曜日3講目の科目で、履修者88名、平均出席者74名（平均出席率84%）という状況で、回答者が43名と回答率49%であった。配布資料、教科書などの教材は適切、学生の理解度を確認、熱意を持って授業でも、高評価を受けていた。記述のコメントでは、「大きい教室のため仕方ないと思いつが、もう少しゆっくり復習だったりをしていただければもっと理解できたのか」との指摘を受けました。これからも理解度を高め、興味や関心を持てるように工夫していきたい。
23	人文地理学 II	塙崎 大輔	人文地理 IIはPC演習が入るため、理解度に差が出た結果となった。全員がしっかり理解できるよう引き続き改善していく。
24	音楽表現 I	小黒 万里子	学生各自これまでの実技の経験差がありますが、皆真剣な姿勢で授業に取り組み、学期末には始めてピアノに向かう学生も両手で演奏出来る様になりました。又、シラバスの件に於いては、毎回授業の冒頭にて目標内容を説明してから講義を始めています。まだ色々理解出来ない点や実技が身に付かない事がありますが今後も丁寧に指導して行きたいと思っております。
25	言語表現	太田 俊一	理論面での内容がやや難しく、理解がどの程度進むか心配していたが、大変熱心に取り組み、振り返りの結果を見る高い定着率だった。実践面では「紙コップ人形劇」と「ペーパーサーティ」に取り組んだが時間に足りない中、制作にも演技にも熱心に取り組み、大変立派な発表会になった。私の声が低く、その割に喋り方が速いせいか、声が教室全体に響かず、ハッキリと聞きとれなかつたことがあったようだ。今後、スライドでの表示や声の大きさに工夫をしていきたいと考えている。
26	社会的養護 II	杉本 大輔	自由回答がないということは凡庸な講義であった証拠。猛省する。
27	WEBデザイン I	山腰 雅樹	対面でもレコードイングを行うことや画面共有を行う等、新たな施策を盛り込みつつ授業を行なったが、振り返り等しやすく良かったと言う声があり、一部の施策は有用であったと感じました。また画面共有も行なうことで、プロジェクト画面を見子ども手元の端末で確認できるようにした点も確認のしやすさの観点から良かったのではないかと思います。授業内容としては楽しかった、経験が増えた、資料が見やすかった等好意的な意見がある一方、内容が難しかった、ついていけなかったという声もありましたので、次回以降はもう少し分かりやすさや丁寧さを詰めてみようと思っています。
28	アニメーション I	梅田 真紀	ほとんどの設問で肯定的な評価が得られました。ありがとうございます。具体的な改善意見や要望をいくつかいただきましたので、回答します。①タッピング（紙に穴を開ける道具）を増やして欲しいという要望について、購入を検討します。②締切後の提出者は減点して欲しいという意見について、今回も減点の措置はしていますが、今後ははっきり提示していきたいと思います。③OneNoteだけでなく、Teamsでパワポを配して欲しいという要望について、Teamsでも閲覧できるようになっていますが、共有場所を検討します。④教材を貸して欲しいという要望について、人が多いことや公平性の問題があり貸与は難しいと思います。購入物についてはシラバスに記載してありますので、理解した上で履修してください。回答は以上です。他、授業の良かった点をたくさん記入していただき、みなさんが演習を通して多くの学びが得られたことが分かりました。今後も、学びの多い授業を展開できるよう改善したいと思います。
29	インテリアデザイン II	安藤 淳一	授業内容は、インテリアデザインの専門性を講義と、企業・メーカーのショールームの見学との2本立てでおこなっている。その授業内容に対し適切ではないとの回答があったことは、内容の見直しの必要性があると判断する。次年度に向け、内容の精査をおこない修正していくたい。
30	東洋・日本美術史 II	若名 真	通史的な講義ではなく、主題やジャンル、技法別に取り上げるオムニバス的な内容であったため、皆さんも頭の整理をつけるのが大変だったこと思います。それでも毎回真剣な姿勢で授業に臨み、それぞれ自分の言葉で作品の印象などを語っておられたおかげで、とても気持ちよく講義を進めることができました。ありがとうございました。欠席した際の自習教材（リフレクションシート）についての説明が十分でなかったようなので今後改善したいと思います。
31	保育の計画と評価	吉江 幸子	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。保育専攻学生にとっては次年度の保育実習に向けて必須の授業です。留学生も参加していただき、できるだけ「わかりやすく」を心掛けましたが、どのアンケート項目も「とても適切」92%、「適切」8%となりました。計画立案の理解は、特に「子どもの姿の予想」が難しいのですが、今後は保育園児との交流会を先に体験し、その様子を計画案に落とし込む流れにしてみたところ、皆さんの理解度が上がったと感じています。その点で高評価につながったのでしょうか。机上の実習と体験を結び付ける学びが「学外実習」ですが、その前段階としての体験学習を取り入れた成果だと思います。みなさんの積極的な参加によって大成功だった交流事業を土台に、理解が深められたことが良かったと思っています。

<3Q>

No.	講義名	氏名	教員コメント
32	保育内容演習V(表現)	吉江 幸子	「表現」の履修。お疲れ様でした。アンケート満足度としてはどの項目も「とても適切」78%、「適切」22%の結果でしたが、第3クォーターは、みなさんが保育実習やソーシャル実習で学外に出ているため不在も多く、周囲の様子が分からなくなるまで終わった8回授業で残念でした。 実習後の補講期間内で製作や指導案を進めなどハードなスケジュールでしたので、周囲と話したり確かめ合ったりする時間の確保が課題を感じます。 そうであっても個々の製作には工夫があり、発表も楽しめるような工夫があり、次年度の実習で必ず活用できる「表現」材料になっていると思います。 学生全員で発表し合えるよう次年度は考えます。 ありがとうございました。
33	二級建築士演習III	佐藤善・向井	アンケート回答ありがとうございました。 資格取得のための知識修得のため、授業改善に取り組んでまいります。
34	一級建築士演習III	小笠原 健	この講座は、一級建築士特別養成コースの所属学生向けの7講座のうちの一つで、一級建築士試験一次試験の5科目のうちの施工科目対策講座である。 昨年より開講、今期で2年目となるが、例年同様に一級建築士試験の高難易度に履修生は苦戦しながら毎日の努力を継続していたものと思料する。 講義のアンケート結果も良好であり、今後も同様の講義方針と講義内容で実施予定。 なお、履修学生には、来年7月下旬の一級建築士一次試験の合格に期待したい。
35	応用数学	横山 哲也	学生の理解度の確認及び指導を行う。
36	建築環境II	伊藤 裕康	ノートPCまたはタブレットを持参せよ授業資料をPDFで配付するなどはベースで授業を行いました。 ときどき紙面で小テストを実施して理解度の確認も行いました。 このスタイルは多くの学生に受け入れられましたが、理解度が紙よりも下がるとのコメントももらいました。 より知識の定着をはかるために、こまめに紙で小テストを行うようにしたいと思います。
37	鋼構造	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。 理解できた以上が93%、満足できた以上が97%と高い評価を得ました。 わかりやすいプリントがあり、より理解度が深まったとの記述がありました。 またスライドの文字が小さく見づらかったとあり、改善します。 演習内容やスライドの充実を図り、分かり易い授業を実施していきます。
38	建築生産	小笠原 健	この講座は、建築施工とともに二級建築士4科目のうちの施工分野を網羅する講座であります。 アンケート結果により、僅かながら批判的な意見がありましたが、概ね高評価結果となっています。 アンケートの中でベーバーレスの時代とありましたが、教科書の無い専門講義はありませんし、ベーバーレス化できないものもあります。 また、施工分野の講義であるため、受講生が実務経験がない以上は、ベーバー上では想像していくく、表現もしにくいため、実務を交えて講義や体験談を話してきました。 今後、もう少し理解できるように改善していくたいと思いますが、ほとんどの学生から高評価を受け、また、この講義による一級建築施工管理技術一次試験の高い合格率の結果がすでにあります。 今後も根本的な講義方針ならびに講義内容を変えるつもりはありませんが、今回のアンケート結果を参考にしていきたいものと思料します。 また、公欠については、きちんと欠席届を提出し、講師が認めたものについて公欠としており、学則に違反するようなこともありません。 もし、疑義があれば、学務課へ相談することをお勧めします。
39	建築法規III	佐藤 善太郎	法規IIIはIV同様基準法の中核を構成する部分であり、授業の組み立ても毎年見直ししているところです。 板書については注意しているのですが、配慮が足りず今後共注意します。
40	測量学	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。 理解できた以上が90%、満足度できた以上が97%と高い評価を得ました。 定期試験前の3回の実習について、座学ではイメージできない内容を書き下し理窟が進んだと記述があり好評を得ました。 配布資料による演習計算と実習をさらに充実させて、分かり易い授業を実施していきます。
41	コミュニケーション論	山本 一彦	全体的な授業展開については概ね良好な結果が得られていましたと受け止めているが、少数とはいえ、内容について「理解できなかった」という受講者が存在した。 次年度以降、適切な具体事例の提示等、授業展開の工夫によって、理解できなかったという受講者が出ないよう努めたい。 また、例年、この科目は受講者が大人数になる傾向があるので、取り分け修学意欲の高い受講者に勉強面での負の影響が出ないよう、良い授業環境の維持を目指したい。
42	西洋経済史	小林 大州介	みなさん第3Qお疲れ様でした。 当方の都合により休みが多くなったので、講義回に対する意見が多かったと思います。 これからは来年になってみないと判りませんが、次年度は休講を万全にして臨みたいと思います。
43	リーディング科学I	篠原 誠介	授業改善アンケートにご回答ありがとうございました。 今年度もより多くの学生からありがたい評価を得られたことに感謝申し上げます。 今後もより良い講義づくりのために改善し、学生がこの講義を受けて良かったと、思ってもらえるようにしていきます。
44	経営戦略論	信濃 吉彦	概ね好評価を頂ありがとうございます。 教科書購入とチェックに関して強く厳しいクレームがあったので次年度からは厳正に対処させていただきます。 加えて、このような中身のあるクレームがどうして授業評価アンケートまで上がっているのか疑問です。 講義の直後なり空き時間に研究室を訪れるなりして早めに教えていただきたい。
45	国際政治論	後藤 啓倫	受講生の皆さん、アンケートへのご協力、心より感謝申し上げます。 毎回のForms回答からは国際政治の複雑な構造やダイナミクスを、独創的な発想で捉えようとする姿勢に、私自身も多くの示唆を得ました。 皆さんから寄せられた貴重な意見は、今後の授業設計にしっかりと反映し、より実践的で理論的な探究の場を提供できるよう努めています。
46	観光マネジメント論	五ノ井 審一	より授業に興味を持ち、理解を深めるように創意・工夫・努力いたします。 又、声のボリューム、板書にも更に注意して授業を進めてまいります。
47	グローバル指導論	高井 雅一	今回は、グループ討議や個人の考え方等の教科の指導内容に照らし合わせながら理解してもらおうと取り組んできたが説明不足もあり、2割弱の学生が満足できない回答でした。 再度指導内容を吟味、課題の出し方などを改善していきたい。
48	レクリエーション概論	尾西 则昭	51人中、39人の学生からコメントを頂きました。 ありがとうございます。 結果、昨年も指摘を受けまして、スライドを進めるのが早すぎるとの指摘を受けております。 今後、上記の事が無いように注意して行きたいと思います。 ありがとうございました。
49	イバーナショナルマネジメント論	阿部 裕樹	資料提供の工夫や復習シートの導入を検討し、理解の定着をさらに支援できるよう改善していきます。
50	ビジネス法務	青山 浩之	ビジネス法務は、第3クォーター火曜日4講目と水曜日4講目の科目で、履修者87名、平均出席者36名（平均出席率87%）という状況で、回答者が46名であった。 板書やパワーポイントの字や図の表現は適切、全体の満足度でも、高評価を受けた。 配布資料、教科書などの教材は適切等はほかの項目も好評で、何よりも出席状況も良好であった。 これからも興味や関心を持てるように工夫していきたい。
51	産業心理学	吉澤 英里	まずはアンケート回答に感謝します。 また、授業期間中は円滑な授業運営にご協力をいただき、感謝します。 概ね良い評価を頂けたのではないかと認識しています。 一部、適切ではないとの意見があつた項目については、基本的に見直して改善をします。
52	金融論	小林 大州介	みなさん第3Qお疲れ様でした。 日ごろの勉強の成果か、試験の点数がかなり良かったです。 この調子で社会人になんとも頑張ってください。
53	運動学(運動方法学を含む。)	米野・天野	動作分析のために体育館で受講生個々の歩行・走行・跳躍等のビデオ撮影(スローモーション)を実施したが詳細な分析まで到達できなかった。 次年度は理論的な説明よりも実践的な学びの時間を多く取り受講生の主体的な学習時間・体験を増やす。
54	スポーツ生理学	天野 雅斗	身体の働きを理解しスポーツ指導に応用していくためには専門的な知識が必要となるが、実際の運動とのイメージが結びつかず理解し難かった学生もいたため教授法に改善の余地がある。 次年度以降はいかに受講生たちの体験してきたスポーツシーンとスポーツ生理学の知識が結びつくかを都度確認しながら双方の対話型授業が成立するよう心掛ける。
55	精神保健II	近藤 垂弥	就職活動と並行し、お疲れ様でした。
56	クラウドコンピューティング	由水 伸	本授業のアンケート結果によれば、多くの項目で高い評価が得られ、学生の満足度も概ね良好であった。 授業運営、説明の明瞭性、教材の適切性について肯定的な回答が大半を占め、授業内容が理解しやすく、関心を持つて認識できたとの評価が多かった。 一方で、スライドの視認性に関して一部に改善を求める意見があった。 今後は文字サイズや配色、図表の構成など、視認性向上に向けた調整を行なう必要があると考える。 また、理解度確認の方法や質問しやすい環境づくりについても、さらなる工夫を重ねたい。 総じて、本授業が学生の学習意欲と理解を支える効果を果たしたと評価できる。 今後もアンケート結果を踏まえ、授業内容と運営方法の改善に努める所存である。
57	ICTスキル演習I (A)	由水 伸	※ICTスキル演習(A)・(B) 共通 本授業のアンケート結果によれば、いくつかの項目で評価が分かれ、改善の余地が大きいことが明らかとなった。 特に、シラバス説明、話し方、授業進行、教材の適切性において「適切でない」「あまり適切でなかった」との回答が一定数見られ、学生にとって明確さや分かりやすさを欠く場面があったと考える。 また、理解度確認に関する評価では否定的な回答が多く、学生の理解状況を十分に把握できなかっただけが問題である。 今後は、説明の段階的な提示、小テストや口頭確認の増加、質問対応の強化など、相互作用を高める工夫を講じたい。 ただし、上記の評価は受講生がICTの基礎知識を持たないまま科目を履修している事が大きな要因の1つとなっている。 従来実施されていた情報システム論が廃止されたため、コンピューターの基礎的な用語が理解されておらず、通常使われる情報用語についても難しく捉えられていた可能性がある。 本演習は情報基礎演習の上位版と考えてシラバスを構成したが、情報リテラシー知識の習得は予想以上に充分ではなく、今後は科目の難易度を入門者向けにするなど、再検討が必要とすると考える。 一方で、授業内容自体については「興味・関心を持てた」「理解できた」と回答が一定程度得られており、内容面の方向性は概ね妥当であると判断している。 教員の熱意についても肯定的な回答が多い点は読みとる。 なお、授業中にスマートフォンを使って堂々とゲームやチャットを行う学生が何名かおり、口頭で何回か注意したが何回も繰り返したため、強く叱責した授業回が2回ほどある。 そのことが一部の学生に不快に感じられたんだろうことがコメントに現れている。 ただし、不眞面目な学生に対して内心不快に思う学生も一定数おり、注意したことについて、「叱ったことについて」問題ありません、よく注意してくれた、との肯定的な意見も寄せられた。 今後は、この科目だけではなく、すべての授業科目で学生の受講マナーについて再検討し指導することが必要と考える。 総じて、授業運営の改善が必要であるとの学生の声は真摯に受け止め、教材の再構成、授業の流れの明確化、説明方法の見直しを行い、次年度に向けてより効果的な授業となるよう改善を図る所存である。
58	ICTスキル演習I (B)	由水 伸	※ICTスキル演習(A)・(B) 共通 本授業のアンケート結果によれば、いくつかの項目で評価が分かれ、改善の余地が大きいことが明らかとなった。 特に、シラバス説明、話し方、授業進行、教材の適切性において「適切でない」「あまり適切でなかった」との回答が一定数見られ、学生にとって明確さや分かりやすさを欠く場面があったと考える。 また、理解度確認に関する評価では否定的な回答が多く、学生の理解状況を十分に把握できなかっただけが問題である。 今後は、説明の段階的な提示、小テストや口頭確認の増加、質問対応の強化など、相互作用を高める工夫を講じたい。 ただし、上記の評価は受講生がICTの基礎知識を持たないまま科目を履修している事が大きな要因の1つとなっている。 従来実施されていた情報システム論が廃止されたため、コンピューターの基礎的な用語が理解されておらず、通常使われる情報用語についても難しく捉えられていた可能性がある。 本演習は情報基礎演習の上位版と考えてシラバスを構成したが、情報リテラシー知識の習得は予想以上に充分ではなく、今後は科目の難易度を入門者向けにするなど、再検討が必要とすると考える。 一方で、授業内容自体については「興味・関心を持てた」「理解できた」と回答が一定程度得られており、内容面の方向性は概ね妥当であると判断している。 教員の熱意についても肯定的な回答が多い点は読みとる。 なお、授業中にスマートフォンを使って堂々とゲームやチャットを行う学生が何名かおり、口頭で何回か注意したが何回も繰り返したため、強く叱責した授業回が2回ほどある。 そのことが一部の学生に不快に感じられたんだろうことがコメントに現れている。 ただし、不眞面目な学生に対して内心不快に思う学生も一定数おり、注意したことについて、「叱ったことについて」問題ありません、よく注意してくれた、との肯定的な意見も寄せられた。 今後は、この科目だけではなく、すべての授業科目で学生の受講マナーについて再検討し指導することが必要と考える。 総じて、授業運営の改善が必要であるとの学生の声は真摯に受け止め、教材の再構成、授業の流れの明確化、説明方法の見直しを行い、次年度に向けてより効果的な授業となるよう改善を図る所存である。
59	グローバルビジネスI	信濃・河野 後藤	アンケートにはご回答いただき、ありがとうございました。 授業の分かりやすさや複数教員による視点の提供について評価をいただき、感謝申し上げます。 改善のご意見につきましては、今後の授業設計において参考とし、より良い学習環境の整備に努めてまいります。
60	アントレpreneurship II	阿部 裕樹	資料提供の工夫や復習シートの導入を検討し、理解の定着をさらに支援できるよう改善していきます。

<3Q>

No.	講義名	氏名	教員コメント
61	教育原理（MDA）	西崎 敏	「シラバス等の説明」、「話し方」、「時間配分」、「学や図の適切さ」、「教材の適切さ」、「熱意」は、「充分満足した」以上が100%、「授業内容」、「理解度の確認」「理解度の確認」「授業満足度」は、「そう思う」以上が100%でした。「自分の意見や考えを深めたり述べたりすることでインプットとアウトプットが活かされていた。教員を目指す自分がどれだけ知識が足りないかがはっきりできた授業になった。」「とてもわかりやすい授業で、学ぶ意欲が出来ました。」「考えてみんなの前で発表する機会があったため、人前で話すのは苦手だったが、少し話すことができるようになったともう。」「先生が毎回生徒同士で考える時間をくれるのでとても印象に残りやすく楽しい授業でした。」「グループワークなど、生徒が自分で考えて進める授業が良かった。」「人数が多くてもグループワークで話し合ひができたので深い学びに繋がった。」「一人一人が意見を出す授業はとても建設的に感じたし、今後こういった授業が増えて前向きに受け付けていきたい。」「自分で考える力がどんどん付いていくとともに他人の意見を理解しようとする姿勢が身についた。」「アイスブレイクやホワイトボードなどを使った意見交流があり、楽しく学べたのが良かったです。」「みんなと交流して意見交換できただけがよかったです。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
62	教育原理（S）	西崎 敏	「シラバス等の説明」「話し方」「学や図の適切さ」「熱意」は肯定的評価が100%、「時間配分」は97%、「教材の適切さ」は97%、「理解度の確認」は91%、「興味関心」は97%、「理解」は94%、「授業満足度」は97%が肯定的な評価でした。「私は教職専攻ではなく教育の知識がほとんどなかったが、先生の授業が分かりやすく興味を持てるような授業があつたことや、グループワークなどで自分の意見、考えを話し合う機会も多かったため、とても理解することができたと思う。」「人が多いながらも一人一人目を通していると思っていた、それをこれからも統けて教職を目指す人を支えてほしいと思いました。」「思考課題や、グループディスカッションのような取り組みが多く、学生が勉強しやすいような授業構成になっていた点が良かった。」「受講者全員に向けて、自分の意見を発表するというのは現場に出るにあたって実践的な技能が身につくからこそ良かった。」「自分たちで考える時間が設けられていて、考えることでより理解が深まりました。」「スクールソーシャルワーカーを目指す私にとって、少し難しく感じた。」「先生の授業方法などがとても取り組みやすかった。」「課題が多すぎて大変だった。」「授業内容が難しく、理解するのに苦労した。」等の評価を励みに一層の授業改善に努めます。
63	特別活動の指導法	大庭 隆	学生さんより、たくさんの授業改善に向けた建設的なご意見を頂戴し、感謝申し上げます。ご指摘された部分については、次年度以降の講義改善に向けて大変参考なりました。特に講義の進め方等については、学生さんたちのいろいろな受け止め方があったことを真摯に受け止め、アクティブラーニング的な部分も含め改善していく所存ですので、よろしくお願ひいたします。アンケート回答、ご協力ありがとうございました。
64	生徒・進路指導論	高井 雅一	今回は、コミュニケーションを多くし、自分の意見を述べる機会を作りながら、様々は、課題についてグループ討議を行ってきた。グループで活発な意見交換が行われていた。さらに、工夫を重ねていきたい。自身の経験談が多いとの指摘があり、反省している。